

つながる・つなげる難病連携 -ALS患者との関わりを通して-

山形大学医学部附属病院10階東病棟

副看護師長 小山晃良

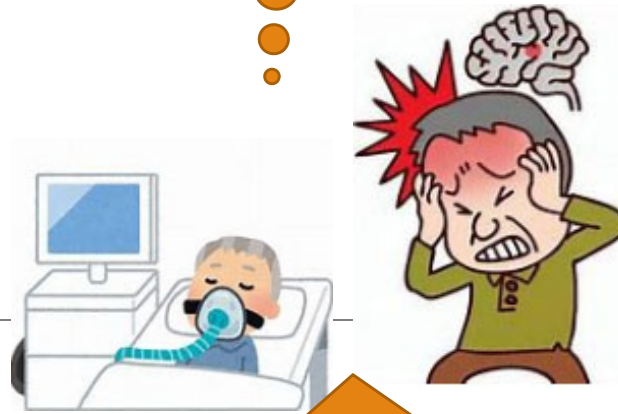
10階東病棟について

眼科



白内障
緑内障
網膜剥離

神経



脳梗塞
筋萎縮性側索硬化症
(ALS)
パーキンソン病

内分泌



糖尿病
下垂体機能低下症

患者さんが抱える不安について

< 診断前 >

- ・ 神経難病の診断がつくのではないかという**不安**

< 診断後 >

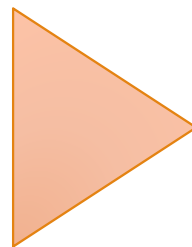
- ・ 状態悪化に対する**不安**
- ・ 今後の治療や生活に関する**不安**

不安への関わりが、看護の大きなポイント

「つながる・つなげる」とは

「つながる」とは・・・

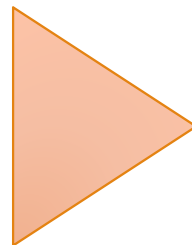
患者・家族と医療者が**つながる**



信頼関係構築

「つなげる」とは・・・

医療者が患者・家族の思いをくみ取り
多方面へ**つなげる**（働きかける）



多職種連携

「つながる」看護実践

- ◆プライマリー患者訪問
 - ◆看護実践の共有
- 患者の「望み」について
看護師全体で共有

患者と同じ方向性に関わり
信頼関係を構築していく

令和5年5月改訂 利用者ファイル→10階東病棟→マニュアル→10東業務ファイル

【お昼のカンファレンス】

13:45~14:15

1. 集合	10分
プライマリー患者訪問(火:モジュールカンファ)	
2. プライマリー患者について検討事項	5分
情報共有したいこと	
3. 看護実践について (水は14分)	9分
状態変化があった患者情報	
身体抑制患者の情報共有 抑制解除の検討	
現在の看護計画は患者の「望み」とあっているか	
4. 曜日毎 評価項目	5分
月:褥瘡 火:NST評価 水:業務改善 金:医療安全・感染評価	
転倒転落・内服評価を各チームに配布し評価依頼	
5. 学生からベスト指導者(実習期間中)	1分
6. その他	1分



日々の
カンファレンス

「つなげる」看護実践

神経カンファレンス



大切な
情報共有の場

地域カンファレンス



ALS患者の一例

<患者背景>

- ・ T氏 50代男性 妻（40代）、息子2人（ともに10代）の4人暮らし
- ・ 入院前は仕事をしており、家庭管理は主にT氏が行っていた。

<入院経過>

◆第1回目入院(2021/11/19～12/02)

左上下肢の筋力低下に関する精査の結果、ALS診断。
自宅退院し療養環境の調整を行う。

◆第2回目入院(2022/01/10～04/06)

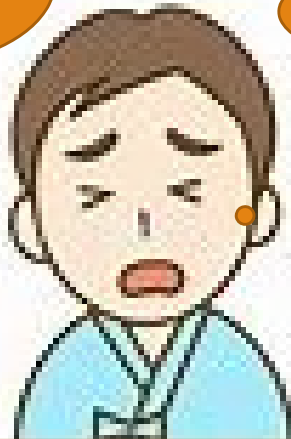
急速な症状進行を受け、胃瘻造設、NPPVの導入目的で再入院となった。
その後急激な呼吸筋低下を認め、気管切開を施行し人工呼吸器導入となり
転院となった。

コロナ禍
面会制限

第一回入院（入院～診断～今後の不安）

自分の症状と合っている
ALSかもしれない・・・

これ（ALS）じゃないと
良かったんだけどな・・・



**不安の傾聴
MSWとの情報共有**

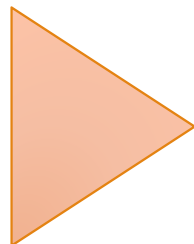
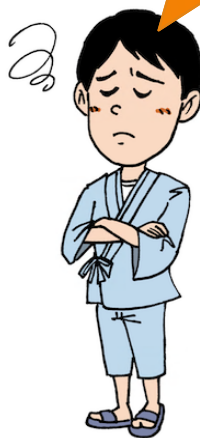
第二回入院(急激な進行→気管切開)

【看護実践:コミュニケーションツールの検討】

すぐ伝わらないから
もどかしい

イライラしてしまう

わ	ら	ま	は	な	た	か	あ
を	り	ゆ	ひ	に	し	き	い
ん	る	よ	む	つ	す	く	う
れ	め	て	せ	け	え		
ろ	ほ	の	そ	こ	お		
9	8	7	6	5	4	3	2
							1
							0



日常生活(身の周りのこと)

トイレ	吸引	ナースコール	ティッシュをとって
ひげを剃って	顔を拭いて	眼鏡をつけて	スポンの裾を伸ばしてください
携帯取って	携帯充電して	眼鏡を外して	背中の上を直してください
テレビをつけて	リモコンとって	音量調整 ・上げて↑ ・下げて↓	チャンネル変えて
カーテン ・開けて ・閉めて	電気 ・付けて ・消して	部屋の温度 ・上げて↑ ・下げて↓	時計が見えるように明るさを調整してください
部屋の扉 ・開けて ・半分	爪を切ってください		パンツのくい込みを直してください
掛け物を ・かけて ・外して	アイスノンを取り替える	アイスノンを外す	パンツが回転して真ん中にきてないので、直してください

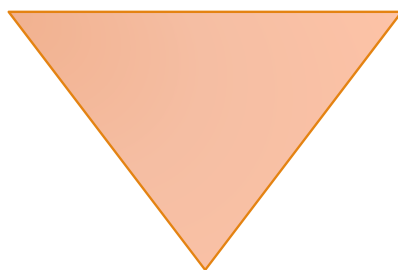
(T氏専用のコミュニケーションボード)

(一般的な文字盤)

- ・ コミュニケーション方法を簡略化
- ・ 患者の望むコミュニケーションツールが使えるよう環境調整 (声録音)

【看護実践：身体的苦痛の緩和】

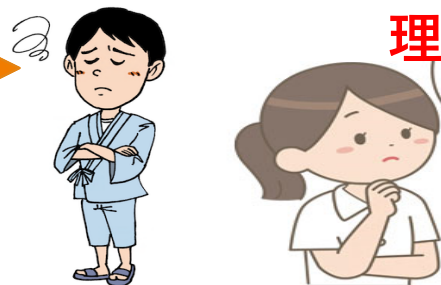
呼吸困難感が出現しているため、NIPネーザル導入。
安楽な体位の調整などに難渋。



細かな患者の思いを聴取できるようノートを作成
統一した看護が行える調整

【看護実践：患者とつながる・望みをつなげる看護】

呼吸器をつけないといけないのは分かるけど…今すぐじゃないとダメなのか??



気管切開を決断できない理由は何か

ノートを作成
日々スタッフと情報共有

望みの表出

呼吸器を装着したら話せなくなるし…
息子が今年度中学校卒業だから、自分で直接卒業したことを「おめでとう」と言いたい。



T氏の強い望みを医師と共有
息子の卒業を待って、気管切開に移行できた



【看護実践：妻への援助】

夫の
気持ち

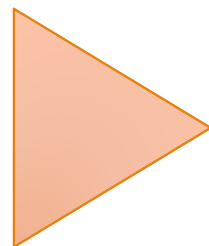
将来は..

家の改装

事務
手続き

家庭
管理

子供



コロナで限られた面会時間
事務手続きに追われてしまう

多職種で複雑な
手続き関係を整理

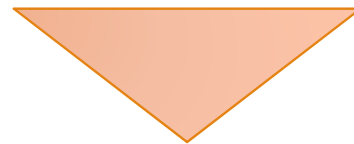
病院外への働きかけ・調整はMSWへ依頼
限られた面会時間で家族の話ができる時間の確保



「つながる」=「信頼関係構築」のためには



- ・ 患者、家族と日々関わり、**望み**を引き出していく。
- ・ **望み**を共有し、スタッフ全体で関わる。



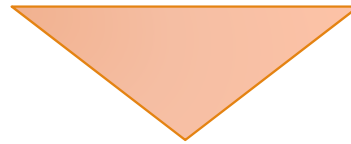
患者・家族のことをスタッフ全体で
考えられるシステムの構築
看護について考える



「つなげる」=「多職種連携」のためには



- ・ 専門的視点からの情報共有
- ・ 医療者同士で話し合い、助け合える関係性を構築
- ・ 連携先との情報共有



**多職種で話し合えるシステム構築
連携先が必要とする情報を共有**

ご静聴ありがとうございました。